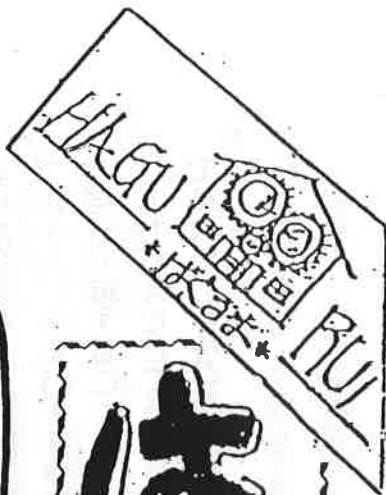


国会議員に届くか 仲間の声

— 行動する仲間たち —



はぐるま

No. 10
2005年6月10日
はぐるまの会
発行：広報部

国会に行つて
お願いしてきました

六月二日(木)きょうされん神奈川支部として仲間たちが国会議事堂へ初めて請願運動に行きました。

この請願の主な目的は、「無認可や小規模通所授産施設と一般法人の大きな補助金格差の是正」

「グループホームや授産施設等の社会資源の増設」
「ホームヘルパー等の人的な支援制度の拡充」

「本格的な所得保障制度の確立」の4つでした。

はぐるまからは、仲間7名
(佐々木、関口、石暮夫妻、飯嶋、大沼、小平)職員3名

(金田、福田、倉科)の計10名で参加しました。当日は、きょうされん事務局職員と、仲間2班を作り、班単位で、十時三十分より請願行動が開始されました。

はぐるま仲間班も、衆議院第2議員会館において神奈川県選出の十三名の国会議員の各部署をまわつて請願を行い、前日に必死になって勉強したメモを片手に自分たちの切実な思いや意見を訴えてきました。

大方の議員は出張中で、秘書の方が対応されましたが、数名の議員さんには仲間たちの声を直接届けることができ、仲間の訴える請願内容を聞いてもらいました。

議員さんからは、「現場の声を聞いてよかったです。今度は自分から現場に足を運んで行きたい」と、「皆さんの声を国会に届けるよう頑張りたい。みなさんも頑張ってください」

「法案廃止に向けて努力したい。皆さんの



〔首藤議員に誓願している仲間達〕

ために力を尽くしていきたい」等の意見をいただきました。請願後の仲間たちのまじめから出た一人ひとりの感想です。

〔飯嶋〕ホーム費をそのままにして下さい。(高くないで下さい)と言った。がんばって下さいと言われて嬉しかった。もう少し上手に話せるようになりたい。いろいろな仲間と国会にまた行きたい。

〔大沼〕緊張して全然話せませんでした。「広報読んでください。お願いします」と言った。話を伝えるに行つたことが楽しかった。

〔石暮〕「負担金を増やさないで下さい」
「バスの運賃を上げないで下さい」「作業

所をばらばらにしないで下さい」「ヘルパーを増やして下さい」「仕事を確保してください」と、きちんと自分の口で言うことができた。今日訴えたので今後の動きに注目したい。

〔小平〕「グループホームに入りたい」「お金が高いとホームに入れない」と言った。江崎議員、古谷議員のところに行った。きちんと伝えられた。緊張した、難しかった。また国会に行きたい。

〔佐々木〕「年金をもっと上げて欲しい」「負担金を増やさないで下さい」「補助金をもっと上げて下さい」と言った。初めて国会に行つて訴えた。もっとお金欲しい気持ちを伝えたかった。(1000万円くらい)怒りをもっとぶつけたかった。また今度国会に行つて頑張りたい。小泉さんに会つて話したい。(お金のことで)

〔関口〕初めて行きました。「小さな作業所ですがお金をもっと上げて欲しい」「グループホーム、ヘルパーを増やしてください」と自分で伝えることができました。中に入れてもらえたところがあって、お茶を出してくれた。とんどん勉強してまた行きたい



〔石暮由〕受付をして、グループに分かれて議員さんの部屋(個室でびっくりした)に入った。議員会館に入る前の荷物チェックが大変だった。「年金、補助金を上げて欲しい」ことを伝えた。議員さんは、いる人いない人が色々だった。秘書の方だと自分たちの声为本当に、届くかどうか心配だった。事務局として仲間に伝えたい。

初参加でしたが、仲間達も少しずつ慣れて依頼を行っていました。

仲間たちの声のなかに、「緊張したけど頑張つて自分の言葉で伝えられた」「議員さんに聞いてもらって嬉しかった」「もっと勉強して、また違う仲間と来たい」といった前向きな言葉がたくさん出ていました。

請願や勉強会といった他団体との交流の中で、仲間達が自分自身の問題としてこの法案をもっと真剣に考えなければいけないという気持ちがあつて、芽生えてきているようです。立法院の国会に行つて請願したことは、今後の仲間達の意識を高める上で貴重な体験だと思ひます。

何かを変えるためには自分達の思いをしっかりと伝え、行動することが大切なんだと改めて国会請願で感じました。(倉科)

法人検討委員会より

※法人検討委員会とは…

行政からの補助が手厚くなる《大きな法人》格を取ることを含めて、今後のはぐるまをよりよくするための組織です。理事会、親の会、作業所・ホーム職員のメンバーで構成され

ています。この会は毎月第4火曜日に行われています。五月二十四日で第7回目をむかえました。

☆現在検討されていることは、「後援会」の立ち上げについてです。後援会とは、バザーやイベントをしたり、会員を募ったりして、主に、はぐるまを財政的に支える団体です。同時に、はぐるまに対しての理解を地域に広めます。

《大きな法人》になるには、一億円相当の資産が必要である、といわれています。仲間たちの願いがかなえられるような環境づくりのため、我々もできることから始めなければなりません。

パンフレット、会則はほぼできあがりでした。後援会長をはじめとする役員の選出はこれからですが、六月の理事会にはあげることができそうです。

今のところ「はぐるま後援会」という通称になっていますが、すてきな名前があればぜひ教えてください。

☆ご存知の通り、この国の福祉の情勢が大きく変わろうとしています。みなさんの関心こと

にもなっている「障害者自立支援法案」では、施設再編をうたっており、その関連で、「大きな法人になってもメリットがないのでは」ともいわれています。

ですから、以前にも報告しましたが、大きな法人化を検討していくことと、今回の法案を勉強することと、同時にすすめていかななくてはなりません。

新聞やニュースで取り上げられることも多いので、みなさんも注目してみてください。

また、前号で紹介した、この法案を考える集会所が、翌日の国会審議に影響した、といわれています。やはり、声を上げ、行動していくことが大切です。作業所で配られる署名や、学習会の参加にもご協力お願いします。

先日の検討委員会で、広報委員が選出されました。各会から、高木、中山、門屋、倉科、親の会会長（交渉中）の五人で構成していきます。今後「はぐるまだより」は広報委員で編集・発行します。

今後ともよろしく願います。

（企画委員 金田）

通信「はぐるま」は現状組織として伝えなければならぬ情報を事務局より発信しています

が、今後は多くの機関紙としてより充実した内容にするため、多くの方々の投稿を募集しています。関係者に伝えたいこと、なんでも結構ですので寄せ下さい。 広報担当 中山

II たがやしクラブ便り II

三六五日型ホーム生にとっての土、日曜日の過ごし方は特別なことではなくごく一般の人たちと同じです。タラタラとテレビだけを見ているだけの生活から、自然に触れたり運動したり、音楽鑑賞、映画を見たりと多彩です。

休養することも大切なこと。この二ヶ月で取り組み始めたことはペンキ塗り。いずみホームの首藤さんのご指導で着々と実績を積んでいます。下駄箱から始めて最近では、管工舎をきれいにし、残りの、トイレ、流し場、柱を六月中にやり完成させます。最新の材料を使いますので、カビ、除菌などは完璧。

作物栽培は、複雑労働で大変難しい作業ですが、ペンキ塗りは仲間達の達成感も得やすい利点があり、きれいになったと言っ時間も持てます。お風呂場、台所どこでもなんでも塗り替えることで見違えるようになり、プロにも負けない塗装を「たがやしクラブ」の仲間ができる

ない塗装を「たがやしクランプ」の仲間ができるようになりました。このようなことで、お手伝いすることがありましたら、相談に応じますのでこゝ報ください。費用は要相談

(たがやしクランプ) 部長 半谷 担当 中山

ホームより

各ホームでは、六月から九月までの毎週金曜日の販売活動日のお弁当は「買弁当」になります。「はぐるま」の伝統的販売活動

(自分達で作ったものは、自分達の手で売るのはホームの手作り弁当で行ってきましたが、数年前の〇一五七事件の時から「買弁当」変更したとの経緯があります。市販の弁当が安全とは言いいませんが、炎天下リュックの中で蒸れてしまうお弁当よりのよいのではないかとこの考えです。

食事、弁当には十分な注意が必要な時期になりました。各ホーム気を引き締めていきたいと思っております。

(ホーム担当 山本)



作業所より

仲間自治会では、評価式に向けて、一人ひとりの労働の出来ばえを評価し、頑張ったことを皆さんに披露しようという連日、遅くまで会議をしています。七月十四日を楽しみにしています。

夏の物品の時期になりました。また大忙しの日々が始まります。皆様のご協力を、お願い致します。

譲ります・探しています

コーナー

- 等身大の素敵な三面鏡
- ☆ 女性用帽子各種
- ☆ カメラ用三脚
- 手話ダンスのボランティアの中山さんよりの提供され、ご希望の方に差し上げます
- ☆ DVDプレイヤー 新品時価九千円位 (二千円くらいでどうでしょうか?)
- 今後集まった品は、バザー等にも出し、収益ははぐるまの運営に役立てます。

問い合わせは事務局まで

長谷川さん(現・石暮稚弘)の手記

議員さん	に会って	言	た	事
はぐるま	エ	多	長谷川	稚弘
議員さん	と	和書	さん	たち
に、	六	つ	の	事
を	言			
て	ま	し	た	
一	つ	目	は、	秘
金	を	ふ	や	さ
ない	で	と	言	た
二	つ	目	は	任
事	に	行	く	い
る	仲	間	を、	作
業	所			
を	出	さ	な	い
で	と	言	た	
そ	し	て、	三	つ
目	は	ハ	ル	パ
ー	さ	ん	を	や
め	さ	せ		
ない	で	ほ	し	い
と	言	た		
四	つ	目	は、	バ
ス	た	の	る	時
に	今	は	た	だ
で	の	水	あ	せ
ん	と	言	た	
五	つ	目	で	は、
今	い	る	仲	間
た	ち	を、	バ	ラ
バ	ラ	バ	ラ	
に	し	な	い	で
ほ	し	い	と	言
た				
さい	ご	は、	ホ	ー
ム	ヤ	作	業	所
に	お	金	を	た
く				
人	私	や	せ	な
い	で	ほ	し	い
と	言	た		
こ	水	か	ら	も
、	会	加	し	て
い	き	た	い	で
す				
こ	水	は、	同	心
仲	間	が	会	加
さ	る	人	じ	や
な	く			
て				
い	ろ	う	な	仲
間	が	行	き	た
い	と	思	っ	て
い	る	の	で	
、	せ	ら	あ	さ
そ	い	、	お	ぬ
が	い	し	ま	す